



炬火を掲げていざ謳う

No.8



我々の泉鳥取

2022年7月4日(月)

編集・発行 泉鳥取高校 教頭(妻木)

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

制服の変遷

泉鳥取高校の制服は、2度変わっています。

開校時の昭和51(1976)年から平成4(1992)年までは、男子は詰襟標準服、女子は紺色のブレザーにプリーツのスカート、ダブルのベストに緑のリボンでした。写真①は、10期生卒業アルバムのクラス写真撮影時のスナップですが、季節は5~6月ということもあって、女子は合服となっています。

平成に入って、海外でも着られえて、制服指導も簡単なブレザーの制服に変更しました。この時は、保護者から意見を聞き、生徒からデザインを募り、会議室で生徒向けの内覧会を行い、制服変更を生徒も考える、という形で決定していきました。最終案は、膨張色を避けるために紺のブレザーをベースに、本校だけのオリジナル生地でスラックスやスカート、ベストをデザインしたものとなりました。ネクタイはロンドンの救急隊員と同じワンタッチで、ネクタイとリボンは着用を義務付けませんでした。この時、ポロシャツも検討課題となりましたが、就職試験等でネクタイが必要と判断して、ポロシャツの導入は見送りとなり、結局この写真の形となり、18期生から採用されました。

三代目の制服は平成31(2019)年から採用されました。これまでの紺からグレーとなり、デザインが全く変わりました。しかしながらこの制服にすべての学年が変わった令和3年度、泉鳥取高校はりんくう翔南高校と機能統合、閉校が決定しました。



写真①最初の制服、10期生のアルバム撮影から



写真②二代目の制服

平成5(1993)年～平成31(2019)年。



三代目現行制服